

平成30年度事業計画

I 基本方針

2017（平成29）年2月に鹿児島県の高齢化率が30%を越えたという新聞報道がなされました。霧島市は26%と平均を下回っていますが、着実に超高齢化社会の波は近づいてきています。

一方、人口も減少に転じ、30年後には現在より2000万人減少するといわれ、労働力の確保が課題になるとも言われています。

こうした中、家庭・職場・地域で誰もが活躍できる社会を目指す「一億総活躍社会」が叫ばれていますが、これは、高齢者へも積極的な経済活動への参加を呼び掛けるものであり、現代社会において高齢者は立派な社会の担い手なのです。

つまり、経験と知識を蓄えた高齢者は、まだまだ地域社会に貢献できる可能性を秘めており、その発信基地が霧島市シルバー人材センターであると考えます。

このようなことから、「元気で働く意欲のある高齢者」の受け皿としてシルバー人材センターの果たす役割は、今後ますます重要になってきていると考えられます。

こうした中、当センターでは、第4次中期計画を策定し、更なる飛躍を目指して事業を進めて参ります。

II 基本目標

①会員組織の整備及び活性化

◇事業目標

1. 会員数1,030名を目標に、会員1・1運動（会員1人が1人の入会促進運動を行う）や夫婦会員会費優遇制度について周知を徹底し強力に推進します。
2. 地域班活動の活発化や、入会説明会の内容の充実、60歳以上の一般市民を対象にしたグラウンドゴルフ大会の開催など、センター事業の普及啓発を行います。
3. 公平・公正な就業機会の提供を行うための「見える化制度」を更に機能を充実させていきます。
4. 増加傾向にある生活支援サービスに対応するため、ゆりの会（福祉・家事援助・子育て支援サービス班）組織を再構築し、受注に的確に対応できる体制を整えます。
5. 事業拡大並びにクレーム撲滅に向け、地域班長、職群班長、各種委員を対象とした研修を行い、センター運営に対する意識の高揚を図ります。
6. 後継者育成並びに技術向上のために、各種講習会を開催します。
7. 会員相互の連帯意識（センター行事への積極的な参加）を高めることで、退

会者抑制に繋げていきます。

7. 上記センター行事への積極的な参加を推進する手段としてポイントカードを導入します。

②事務局組織の整備及び安定的な財政運営

◇事業目標

1. センター事務を更に見直し、企画・営業・管理業務に重点を置いた事務局体制を構築します。
2. 本部事務所の位置、各地区事務所のあり方について行政との協議を継続していきます。
3. 理事会の専門部会制度を充実させ、さらなる事業の発展を図ります。
4. 会員へのサービスの向上として、職員の時差出勤制を試行します。
5. センター事業に対しての理解を深めていただくため、理事、監事、各種委員の研修を行います。

③就業機会の開拓・創出及び確保

◇事業目標

1. 「自主・自立」の原点に立ち返り、会員自身も仕事の開拓に取り組む必要があるため、1会員1仕事開拓に取り組めます。
2. 現在指定を受けている指定管理施設については更なる充実を図り、また、他の指定管理者との連携を強化し、就業機会の拡大を図ります。
3. 就業開拓委員会と理事会、職員が一体となって、街頭キャンペーンやポスティング活動を進め就業機会の確保に努めます。
4. 独自事業を更に拡充し、センターのイメージアップを図ります。
5. 8月に普及啓発の一環として広報誌を発行し、会員・市民へ向けて情報の提供を行います。
6. ホームページの有効活用を図ります。
7. 地域就業機会創出・拡大事業が本年度で終了することから、新たな企画を提案し補助事業の獲得を目指します。

④安全就業の徹底

◇事業目標

1. 安全就業の徹底を図り、傷害、賠償事故0を目指します。
2. 毎月第4木曜日を安全の日と定め、安全・適正就業委員会を中心に、作業現

場への安全パトロールを行います。

3. 安全指導専門員による、不定期でのパトロールを強化し、指導を徹底します。
4. 事故の要因分析と再発防止策のフォローアップを行います。
5. 安全だよりを発行し、会員の安全に対する意識を高めます。
6. 安全に対する意識の高揚を図るため、優良地区等の表彰を行います。
7. 車両事故発生時に責任の所在を明確に出来ること、また運転者の安全に対する意識高揚を図ることを目的にドライブレコーダーを各車両に搭載します。
8. 損害賠償保険の自己負担額を見直します。

⑤適正就業の徹底

◇事業目標

1. 長期就業について、ローテーション就業を推進します。
2. 完全請負制定着のための取り組みを進めます。
3. 公用車の運転業務に関して「高齢運転者等に係るガイドライン」に基づき基準を設定します。

⑥関係機関との連携強化

◇事業目標

今後もさらに行政と連携を深め、人的支援をお願いしていきます。あわせて、地域の団体及び各地区のふるさと会（関東・関西）とも連携を強化し、シルバー人材センターに対する理解の浸透を図り、事業拡大に繋げます。